

こんにちみなさま! まーさです。  
半期に一度のお約束、まーさの「占い帳」の世界へようこそ。そしてまたまた再会の諸君…どうどうも☺頃のご愛顧、本当に感謝しております!

さあてえ〜〜!(笑)  
毎度おなじみ、次の流れを知る前の、これまでのあらゆるすじ&おさらいからまいりましょう。

2016年後半は非常に盛り上がりつつ…終わりました。いえ、まだこれを最初に読んでいただく段階では終わっていませんね。

2016年と言えば、とにかく前半〜晩夏までは、乙女座木星と射手座土星が作る、緊張の柔軟宮戦線がとにかくきつかった(涙)。

柔軟宮は感覚的で情報や人の神経(私が思うに)にかなり影響を与える星々ですが、双子座、魚座も合わせて、この四星座に星が集まって「Tスクエア」(※解説 このうちの三星座に惑星が入ることによって、つまりは各90度ずつ離れたTの字になる配置)、時に「グランドクロス」(※同 その四星座版。つまりは十字架になる)という二大・緊張状態配置ができるたびに、世界の空気が不穏になり、世間でさまざまな血まつり、炎上の出来事があるのを、ひいいい〜〜〜と見て見ました…(おそらく2016年の印象的な出来事の多くはこの配置に関係あり)。

が、別にこの配置も血まつりが本来の目的ではありません!(断言)  
柔軟宮はどれも感性豊かな、人に多くを感じさせ、考えさせる星。  
実際に動かずとも、魂や心、思考のレベルでたくさんの方が経験できる点で四星座は一致します。  
で、この配置の影響の強い、特に〜9月までの時期

は主に内的な振り返りが重要で、そこから今後への新しいヒント、指針をつかむことが目的でした。  
これまでの自分を一度省みさせ、その上で、「人生の目的が変われば、世界の見え方は変わる。それに合わせて、自分の精神を刷新せよ」みたいなことを伝えるための時期だったと思います。  
そう、いろいろなことがあった2016年ですが、本当に大きなことを実行に移すところまで行ったのかというと、これは必ずしもイエスではないなと。  
もちろん9月までの時期に大活躍して、「すごたくさんのことをやり遂げたぞ!」という人もたくさんおられるでしょう。  
それはそれでスーパーグー(花丸)! 素晴らしいことです。

が、それはものすごいことだったとしても、もしかして、それでさえ、今後…2017年以降の自分が行うことの“序章”にすぎないんじゃないのか…と私は思うのです。  
つまり、今年の前半で思い立つ何か、切り替わった“何か”に本当の目的があったのなら、その「これのために」の部分は…それ以降の10月〜、そしてこの2017年に徐々に明らかになるんじゃないのかなあと。

こんな、12星座のうちの4星座が寄ってたかって引っ掻き回して高めた、純度を上げた決意の意味が、そんな小さいレベルなわけはない…と。  
きっとその意味は、私たち個々の人生レベルで見たらとてつもなく大きくて…。  
ぱっと視界に入れて把握できて、時間の単位で言っても、目の前でぱっと切り替わって…みたいな、そんな“量感”じゃない気がする…。

現状の私はそう思っております(2016年11月)。  
もちろん、この星周りについては、2016年の上半期、下半期占い帳を書くときにも数回考えてきたことなのですが。実際にその時期を無事に通り過ぎ、そしてその続きの10月…以降の時期の意味もより分かってきた今思い返すと、「あれは想像以上に深い意味があったんじゃない?」と、そう思えるのですよ。

で、その意味を一層理解する2017年になるんじゃないかしら。

これを裏打ちしてくれているのが、9月以降の星周りです。  
9月10日に木星は天秤座に移り、まだ9月いっぱい移行期のゆるめの雰囲気だったものの、9月末には火星も山羊座に入って、一気に活動宮度が高まりました。  
「いろいろことを考えつつも、目先の問題が急に動きだし、緊迫度を増す感じ」ですかね。しかもこの火星、先にいた山羊座冥王星のそばを通過して進みますから。  
あれですね。

「今まで鍋の底に沈んでいた具を、火を再点火することで、さらにかき混ぜることで上に浮かび上がらせる」系の力があると思います。  
変わらず牡羊座に天王星はいて、これが射手座土星を支援しますし(しかもどんどん度数は近づいてパワーアップ傾向)、天秤座木星も年末に近づくと射手座土星の度数に追いつくので(木星の方が、土星より進むスピードが速い)、主にこの2016年ラストの数か月は、主に「自分自身の生き方の指針、どうしたいのか、何を願うのか」が引き続き主題ではあるけれども、

それを見つける、突き詰める、描く、変えるのキーワードは主に対人関係にある。  
この点がとてもはっきりしていると思います。  
誰かとどうなる!みたいな具体的な意味合いももちろんそうなのですが、  
大事なのは、その人とうまくいった、いかなかった、みたいな末梢的な部分だけじゃなくて(敢えて言うなら)。  
「私は人とどうかかわっていく?」  
みたいなことを、もっと大事にしると、星は言いたいように思います。  
「あなたが人をどう扱うか、どう見て、どう大事にするかによって、人生は様々な形に動き出す」のだと。

で、多分。  
この命題に対し、本当に真剣になるためには、まず自分の考えや好き嫌い、何に反応し何を求め…みたいな、根源的な感覚をもう一度、自分でよ〜〜〜!知っておいてほしかったので。

また別の形で私という鍋をかき回し、敢えて内なる感覚を混乱させて、改めて自分の中の透明度を自分で整えさせる作業をさせたのが、夏までの柔軟宮たちだったのでしょ。  
なんとなくそんな気がしています。  
何だか柔軟宮が混乱を作るたびに、「それでも自分はこうなんだ!」という気持ちが、それぞれの人の中で高まっていった気がしますから。  
もちろん、その途中で気落ちしたり傷ついたり、これでいいのか…?と道を見失ったりすることもあったと思います。  
ダメージを受けて、で、それで自分を本気で否定した人はいなかったんじゃないかと。  
経験から学んで部分変更したり、まるっきり一段階

バージョンアップした!くらいに自分を変えたりした人はいると思いますが。その変化の動機に「自己否定」はなかった気がする。それまでの自分を必ずしも肯定できないから苦しんでいるだけで、そこから這い上がった人はみんな、「改めて自分を好きになった。これでいいのだ、この自分を受け止めていこうと、決意を新たにした」。少なからずこの姿勢なのではないですかね。

つまり、もし今年という星周りをここまでフル活用できているのなら、この秋は、いろいろしんどいことはあっても、でも心はクリアなはず。

「私は何が大事で、楽しくて。何がつらくて、苦しいのか。もう自分でよくわかっているから」です。

あと、「人は苦しいから苦しむんじゃなく、“苦しみたから”苦しんでいる部分もある…」、こんなことにも気づきつつあるはず。つまりは、苦しんだり悲しんだりせずに、物事を乗り越え、戦うことは可能なのだと。それもわかり始めているのではないのでしょうか。

もちろん時に人は泣かずにはいられない、落ち込むしかない出来事に遭遇はします。が、真面目に考えてみると、そこまでのことは、生きていてもそうしょっちゅうはない。本来はそうできるはずなんです。

「人生で何か望ましくないことが起こったとき、『この手のことにはこうするしかない』=と決め込んで今までやってきたけれど、

別に必ずしもそうしなくても、解決できる、通過できることもあるんだなあ」(例:仕事の進行がうまくいかないと即徹夜&甘いもので自分を慰める、不安になったら即彼を泣いて責める…等)つまりはそれこそ“思考のくせ”、もしくははひょっとして…“私の好み”?でもそれって絶対じゃないんだ…みたいな。

何かしら普段と違う経験をして、もしくは気が付く出来事があったこんな風を感じたのなら、それは大層有望で、今年らしいヒントを手に入れたのだと思ってください!

というわけで、話は長くなりましたが、そんな2016年の最後の段階!つまり2017年度へののりしろ部分、どんな星かと申しますと…。

11月10日より水瓶座に移動した火星ももう最終度数方面、12月中旬までには魚座に入り、ちょうど31日近辺で魚座海王星と0度になります。かつ少し時間は戻りますが、12月の真ん中、10日~20日あたりはまさに天秤座木星と射手座土星がびったり60度で最高☑調和の時期(しかもどちらも順行。※大事)。しかも牡羊座天王星も同じ度数!ということで、この2016年最後のあたりはとてつもなくフレンドリー&ハーモニーな雰囲気。明るくて賢くていい関係が作れる正直な時期…という感じです(かえってわかりにくい!)。そうね(笑)。たとえば、誰かとの関係に関しても、かなり思い切った&正直な対話ができるのですが、あまり感情

的すぎないのも非常にいい。普通「正直に腹を割って…」みたいなイメージのときって過度に大騒ぎしてしまう感じ(感情ゆさぶり)もあるのですが、今回のこの大惑星のナイス配置は火&風星座だけで構成されていますから、勢いもエネルギー量もあるんだけど、最初に動くのが感情、特にウエットな部分じゃないんだ。とにかく明るいし、からっとしています。あと配置も、かなり関係性的にもタイト☑なもの&特別感はあるんだけど、それは今後を限定する感じじゃないね(つまり“約束”はあるが“執着”はない)。イメージで近いのは「一緒に未来を広げよう、冒険しよう、勇気を出そう」。どろどろした…泣いたりすがったり「分かり合えるのはふたりだけ☑(涙)」、みたいなあれじゃないです。愛を語るにしても、公で宣言できる雰囲気。あ、これ愛のたとえでしたが、何のジャンルにも適応できます。何に当てはめても、堂々としたパワーがうかがえます。表面的でない勇ましさ、自己信頼が非常に強い。ある意味、これはこういう精神性の高さの…一番いい状態かと(きらきらきら)。

かつ、このとき水瓶座の後半の方まで来ている金星も、同じくこの配置を支援の位置。正直、この星のメンツに前向きになられたら、逆らえる人いません(笑)。同じく、さっき少し触れた魚座の火星&少し前に順行に戻った海王星、そしてそのとき逆行中の山羊座水星&太陽と月(31日は新月なのでございます)も、おずおず…ながら優しい気持ちで同じく前を向いており、まさに天頂にある全部の星が「今ある自分で、改め

てやっぺいこう。力を終結させてそれぞれの道を行くのだ!」的やる気を感じさせる配置なのです。まさに10天体「エイエイオー!!!」で終わるのが2016年です。

私たちも、いい意気が高まって何かを宣言したくなったり、改めて新しい方向に舵を切りたくなったり、そんな決意の固まる年末だと思えます。

うわ~~~~~ん(書いてきた量におののく)。ということで前置きですごく長くなりましたが。ようやくここから2017年です。

だって、…2017年上半年はすごく2016年からの続き感があるから…(実はこの前に少し見た)。セカンドシーズンのお話が分からないと、サードシーズンが面白くない!的な気持ちがこの長さの要因です…。

## 夢の中に次の現実を見い出せ “新生”の情熱から始まる1月

はい! そんなわけで(ようやく)参ります。1月。

年末年始、そんな力強く前向きな力を受けて、「未来に向けての再確認」や具体的な道筋を改めて示し直す行動をして、スタートを切りそうな新年です。先ほどの(というかも去年だけど。笑)「エイエイオー!」の中で紹介する順は最後になり、なおかつ“おずおず…ながらも優しい気持ち”などと言われた、山羊座の星群ですが(太陽、月、水星、そして…冥王星!)。そうはいってもどんなときも、そのとき太陽がいる位置は場の主役、主題を示しますので。